



いそだ たつのぶ
磯田 達伸 市長

長岡には子どもや若者を
支える大人がいる。
安心して挑戦してほしい

垣根を越えて交流し、議論する場として活用してもらいたいです。
佐藤 女性農業者の仲間と利用してみたいです。違う業種の人とのつながりで、新しいものが生まれる可能性もありますよね。

**挑戦を続け
明るい未来へ**
山田 これからが楽しみになってきました。長岡の明るい未来のために大切だと思うことや今後の目標を教えてください。
佐藤 私は挑戦を続けること



◀ 栖吉小学校の稲刈りの授業。子どもたちに、農作物や土に直接触れてもらうことを大切に活動している

自分と仲間を信じて一歩を踏み出す。大好きな農業の魅力を広めたい

さとう ゆみ
佐藤 佑美 さん

長岡市農業委員。結婚を機に農業を始める。女性農業者でつくる「新潟県中越地域女性農業者コミュニティnowa」を結成。子どもたちや障害者と農業をつなぐ活動にも取り組んでいる。



が大事だと思っています。一緒に頑張る仲間がいるとすごく力になるし、仲間が新しいことを始めるときのワクワクが大好きなんです。農業に関わる女性を増やし、仲間の輪や農業の魅力をもっと広げていきたいです。
松田 仲間の存在は大切です。障害者スポーツのチームがなく練習拠点に困っていた私を、長岡ACのコーチや仲間が気持ちよく受け入れてくれました。パラ陸上を通し、大きな夢を持つことの素晴らしさを感じています。
廣川 松田さんに多くの支えがあったように、全ての子どもと親を周りがサポートする環境があるといいですね。自分の意見や気持ちを受け入れられているという安心感があるからこそ、怖がらずに挑戦を続けることができると思います。そのためにも、価値観を固定しないことが大事。一人ひとりが考えを持ち寄ること、イノベーションが生まれるのではないかと思います。
長井 私の人生は失敗だらけです(笑)。でも、失敗ほど自

にはほとんど行けないけれど、ロボット作りには行きたいという子がいました。学校は苦手でも、好きなことだとどんな学習意欲が湧いてやる気になる。
市長 ものづくりやプログラミングを学んだり、eスポーツ(写真⑤)をしたりと学校とは違う環境を用意したい。ミライエ長岡では、子どもたちの好奇心を刺激し、アイデアの実現を応援する小学生向けのワークショップ「ミライエクリエティブキッズ(写真⑥)」のようなイベントを開催しています。
13ページへ
長井 私はミライエ長岡で、業種や世代などの垣根を越えた技術者の交流をしたいんです。5階のナデックベースのものづくりラボには3Dプリンターもある(写真⑦)。そこに行けば教えてくれる人がいる環境は素晴らしい。技術が集積する長岡の新しい1ページを作りたいです。
市長 さまざまな人が集まりイノベーションの拠点でもあるミライエ長岡。ここは開かれた場所です。分野や年代の

た学生が子どもたちを指導する循環ができていることは、長岡の強み。長岡のものづくりには希望があふれていると思います。
市長 市では、多くの人が長岡の優れたものづくり技術を知ってもらい、楽しさを体験してほしいと「ものづくりフェア」や「メイカーズながおかまつり(写真④)」を開催しています。今年も2月にあります。
16ページへ

分を伸ばしてくれるものはない。失敗すると悔しくて、徹底的に原因を考えます。失敗の中に学びがあることを伝えながら、子どもたちの成長を支えていきたいです。
松田 私はスタートの反応が苦手で失敗の連続でしたが、それをバネに練習を続けていきます。今の目標は、強化指定選手になること。たくさんライバルと切磋琢磨した先に、5月の世界選手権や8月のパリ・パラ五輪があると思っています。
市長 楽しみですね。ぜひ長岡の子どもたちや若者に勇気を与えてください。
山田 市長、長岡の未来は明るいんですね。
市長 みなさん一人ひとりの活動が長岡の大きな力になっていることに、元気づけられました。『ひびとづくり』は、まちづくり。長岡の未来には希望があると改めて感じました。この地に息づく市民協働や米百俵の精神で、子どもたちや若者の挑戦を応援し、夢をつかめる長岡と一緒に盛り上げていきましょう！



⑥小学生の創造力を育むワークショップ「ミライエクリエティブキッズ」
⑦ミライエ長岡のものづくりラボ。3Dプリンターやレーザーカッターなどを備え、試作品やオリジナル作品を自由に作ることができる



⑥



⑤

④自由な発想でものづくりをする人が集う「メイカーズながおかまつり」。さまざま分野でものづくりをする人が出会う場を創出する
⑤年齢や体格に関係なく楽しめるeスポーツの体験会



④